

福島第一原子力発電所 1号機S/C（圧力抑制室） 上部調査結果について（西・南側外周）

平成26年5月30日
東京電力株式会社



東京電力

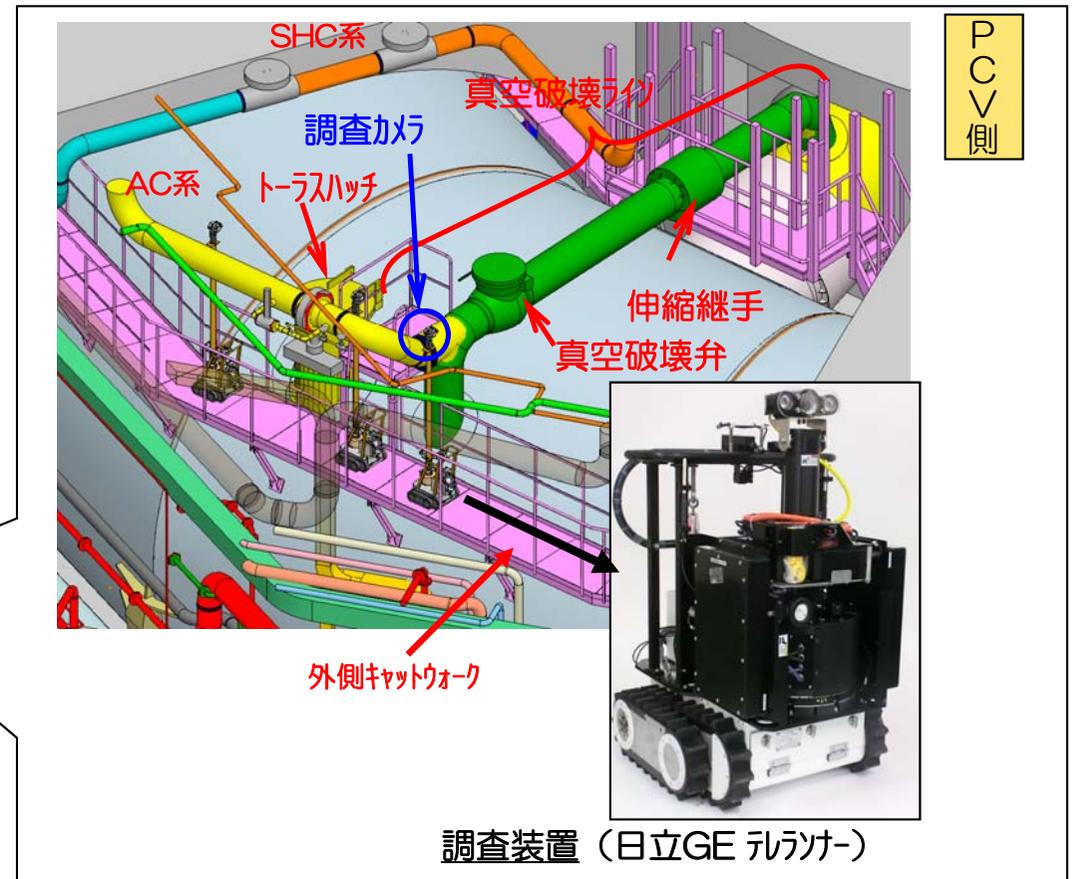
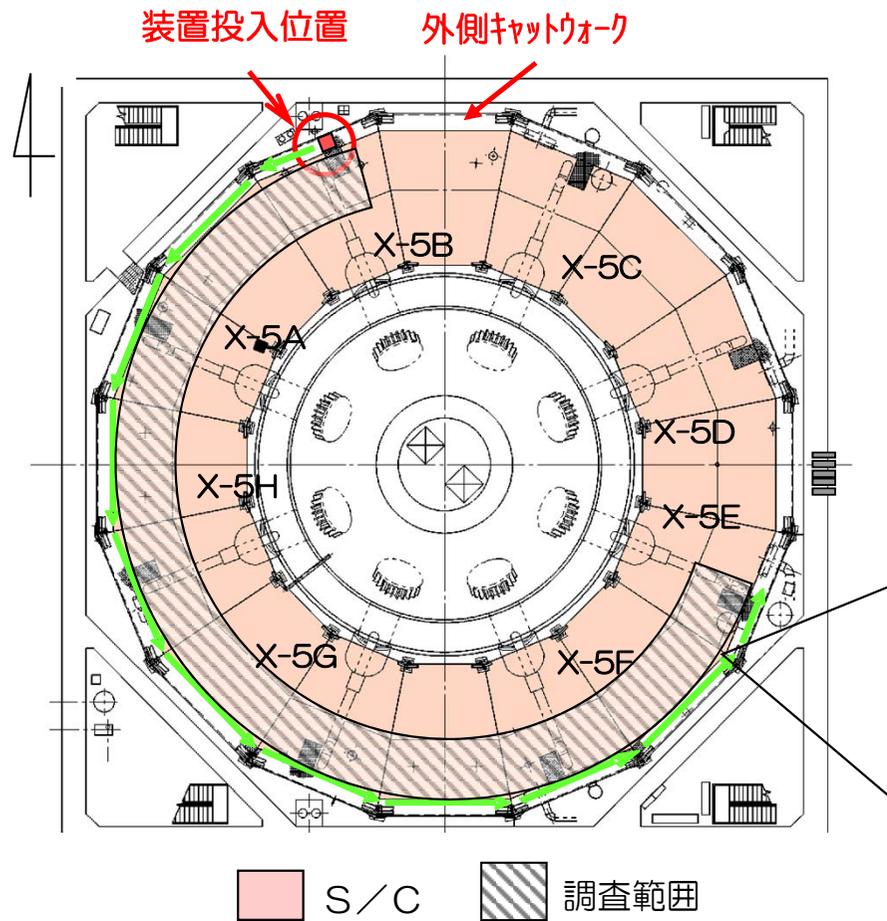
IRID

本資料の内容においては、技術研究組合国際廃炉研究開発機構(IRID)の成果を活用しております。

調査概要

研究開発(資源エネルギー庁補助事業「格納容器漏えい箇所特定技術・補修技術の開発」)中のS/C上部調査装置を1号機原子炉建屋1階の北西エリア穿孔箇所より投入し、原子炉建屋地下1階の外側キャットウォークから調査を行った。

- S/C上部外周側の確認 * 5月30日 西・南側外周を実施



S/C上部調査イメージ図

装置アクセスルート (原子炉建屋地下1階)

調査結果

■調査状況

- 南（X-5G近傍）のキャットウォーク上に保温板金が落下していたため、北西～南の範囲について調査を実施した。

■調査結果

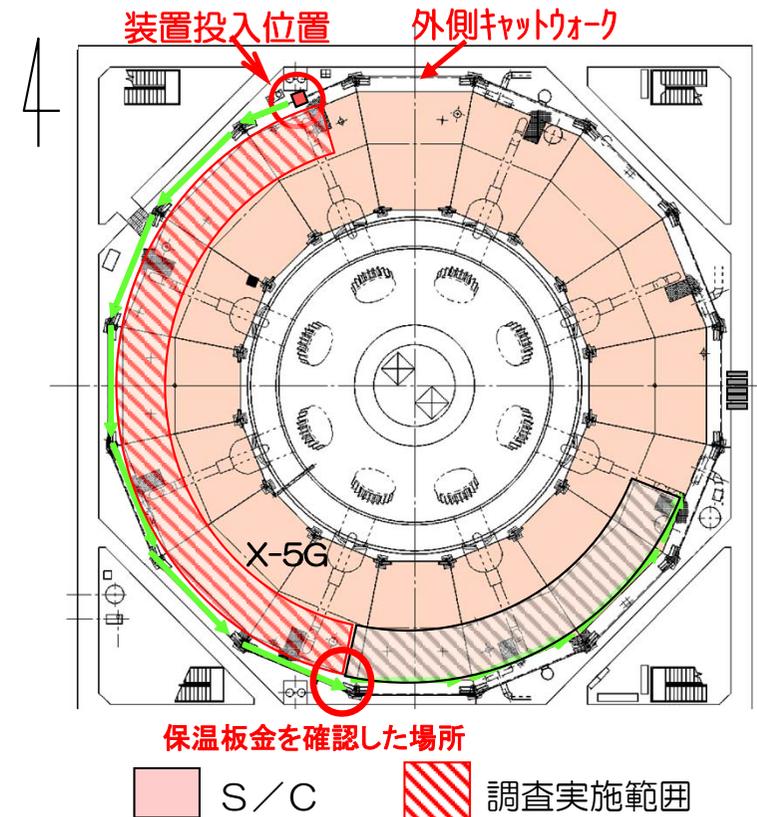
- 北西～南の範囲については、漏れは確認されなかった。
- X-5G近傍の周辺配管は、他のエリアより汚れているのが確認された。
- X-5G近傍で線量の上昇が確認された。



南（X-5G近傍）の状況

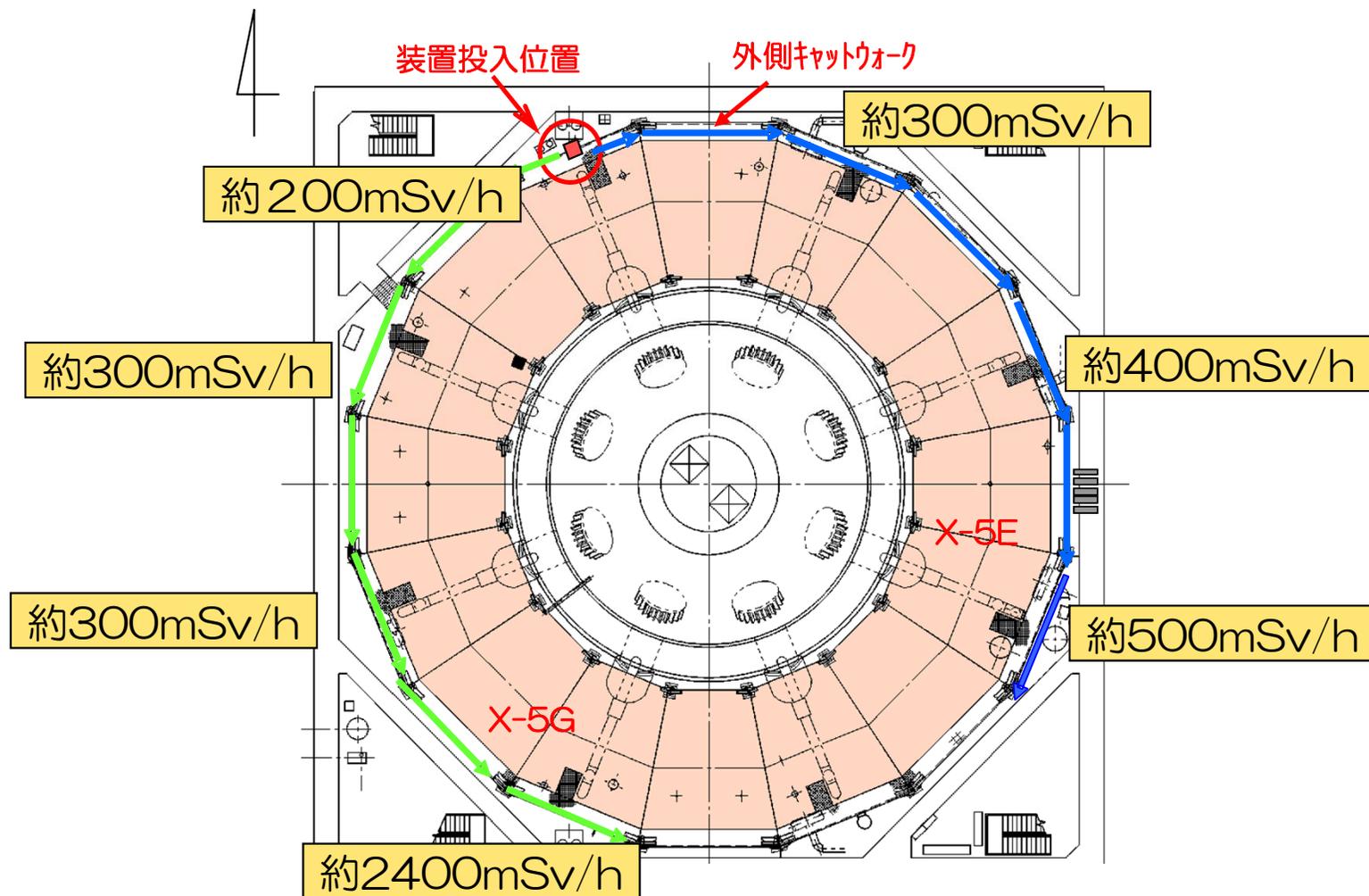


北西の状況



調査結果

■ トーラス室内線量分布（キャットウォーク上での測定）



まとめ

【5月27・30日の調査結果】

- X-5Eの真空破壊ラインの伸縮継手保護カバーからの漏えいを確認した。漏えい量の評価については別途検討する。
- 南南東（X-5F近傍）の調査の実施については、今回の画像を確認後、ロボット調査（時計回り）の必要性を検討する。

【参考】実績工程

